

# 起震車による地震体験



# 【種類別の体験時間】

※1回4人乗車、乗降30秒をプラス

No	種類	M	動作時間 (ナレーション込)	特徴(発生年月日等)
1	関東地震	M7.9	109秒	大正12年 9月1日
2	十勝沖地震	M7.9	101秒	昭和43年5月16日
3	宮城県沖地震	M7.4	77秒	昭和53年6月12日
4	日本海中部地震	M7.7	77秒	昭和58年5月26日
5	北海道南西沖地震	M7.8	82秒	平成 5年 7月12日
6	兵庫県南部地震	M7.2	27秒 (37秒)	平成 7年 1月17日
7	新潟県中越地震	M6.8	38秒	平成16年10月23日
8	東北地方太平洋沖地震	M9.0	120秒	平成23年3月11日
9	平成28年熊本地震	M6.5、7.3	55秒	平成28年4月
10	東海地震 (想定地震)	M8クラス	40秒	
11	東南海地震 (想定地震)	M8クラス	40秒	
12	南海地震 (想定地震)	M8.4	40秒	
13	初級地震 (想定地震)	最大震度5強	36秒	小学低学年向き
14	中級地震 (想定地震)	最大震度6強	36秒	小学中学年向き
15	上級地震 (想定地震)	最大震度7	36秒	
16	中級地震	最大震度6強	36秒+ (5~15秒)	緊急地震速報連動地震
17	上級地震	最大震度7	36秒+ (5~15秒)	緊急地震速報連動地震

# 体験ポイント

- 地震の揺れを体感することで、自助対策の重要性を学ぶことができます。
  - 17種類あり、震度の大きさを変えて体験できます。
- 【気づきポイント】
- 押入れやクローゼットなどに集中的に収納し、家具の数を減らすことで、身を守る点を学ぶことができます。
  - 重心が高い家具は不安定になり、倒れやすいです。重いものは下に収納し、重心を低くすることで、転倒を防ぐことの重要性を学ぶことができます。
  - 家具の配置を工夫するなど、家具の転倒や落下、移動を防ぐ必要性を学ぶことができます。
  - 起震車は、火曜・木曜・第二日曜の午後2時から、防災学習センターでの体験講座で乗車できます。

## 留意点

- 雨天や強風の時には、体験乗車は中止となります。
- 乳幼児は、保護者の方がしっかりと抱え、頭の揺れを防ぐ体勢で乗車することが大切です。
- 乗車により自助対策の重要性を学べますが、体調の優れない方の体験はご遠慮いただく場合があります。
- 出前防災講座・授業の場合は、実施希望日の1か月前から予約を受け付けさせていただきます。
- 起震車ねり丸号は、重量8t、高さ3.6m、幅2.5mあり、起震車展開時には、約6mの幅が必要のため、事前に実施する場所の確認をお願いします。
- 起震車による地震体験は、防災学習センター職員が乗り方等を指導しますので、指示に従って安全に体験乗車をお願いします。